



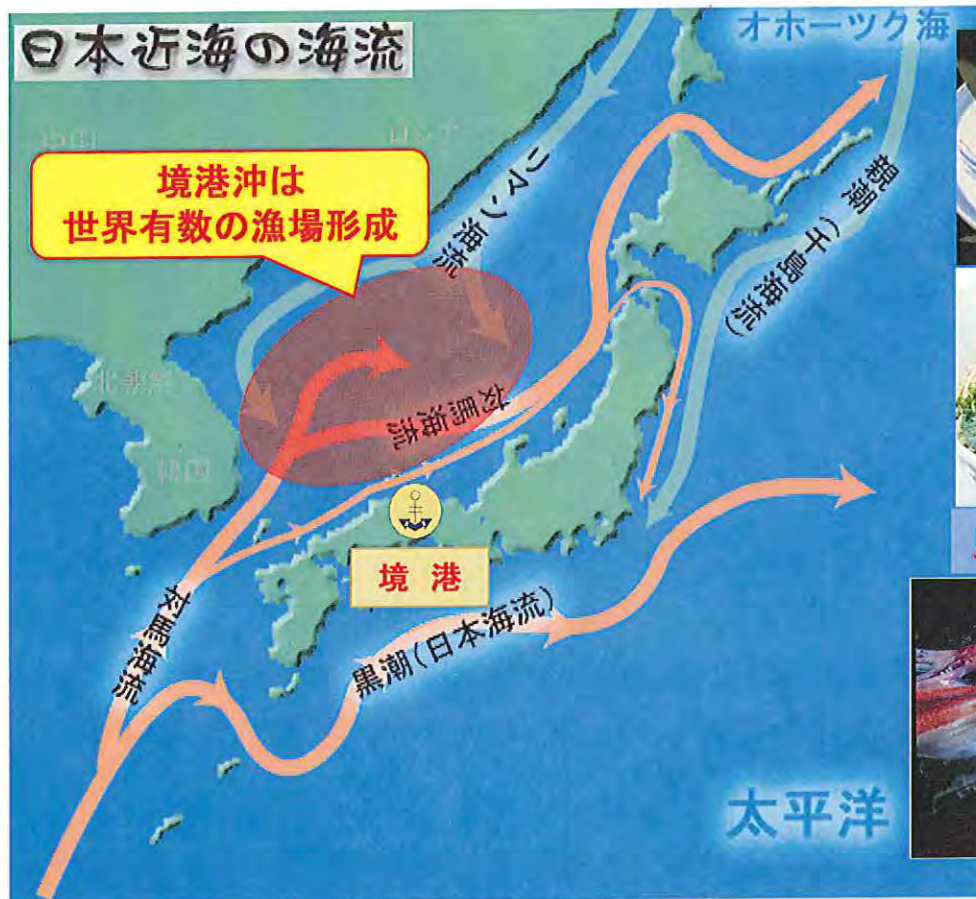
# 北東アジアのゲートウェイ 境港



境港管理組合



# 境港は水産業の拠点港



鬼太郎まぐろラーメン

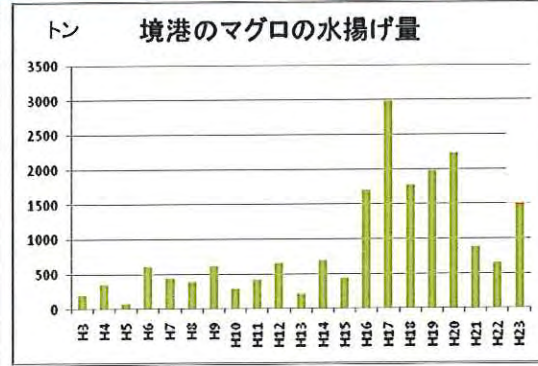


夏の味覚 白いか

## 新鮮な海の幸



生まぐろ水揚げ日本一



かに感謝祭

# 境港～時代を超えた対岸との交流～

境港は古代から  
大陸との交流の拠点

## 朝鮮半島製の鉄器



## 妻木晩田遺跡 (日本最大の弥生時代遺跡)



## 荒神谷遺跡

### 銅鐸と銅矛

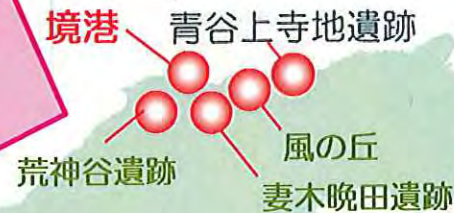


## 日韓友好交流公園「風の丘」



1819年、江原道を出航した韓国商船が嵐で難破し赤碕沖に漂着。鳥取藩は、船長以下12名を保護し、手厚くもてなして長崎まで送り届け一行は無事帰国

対岸交流



## 朝鮮半島との交流



無文土器



有肩鉄斧

## 青谷上寺地遺跡

今に伝える交流の証 (船団を描いた板)



# 境港～日本を変え・日本を支えた港～

## 北前船の歴史

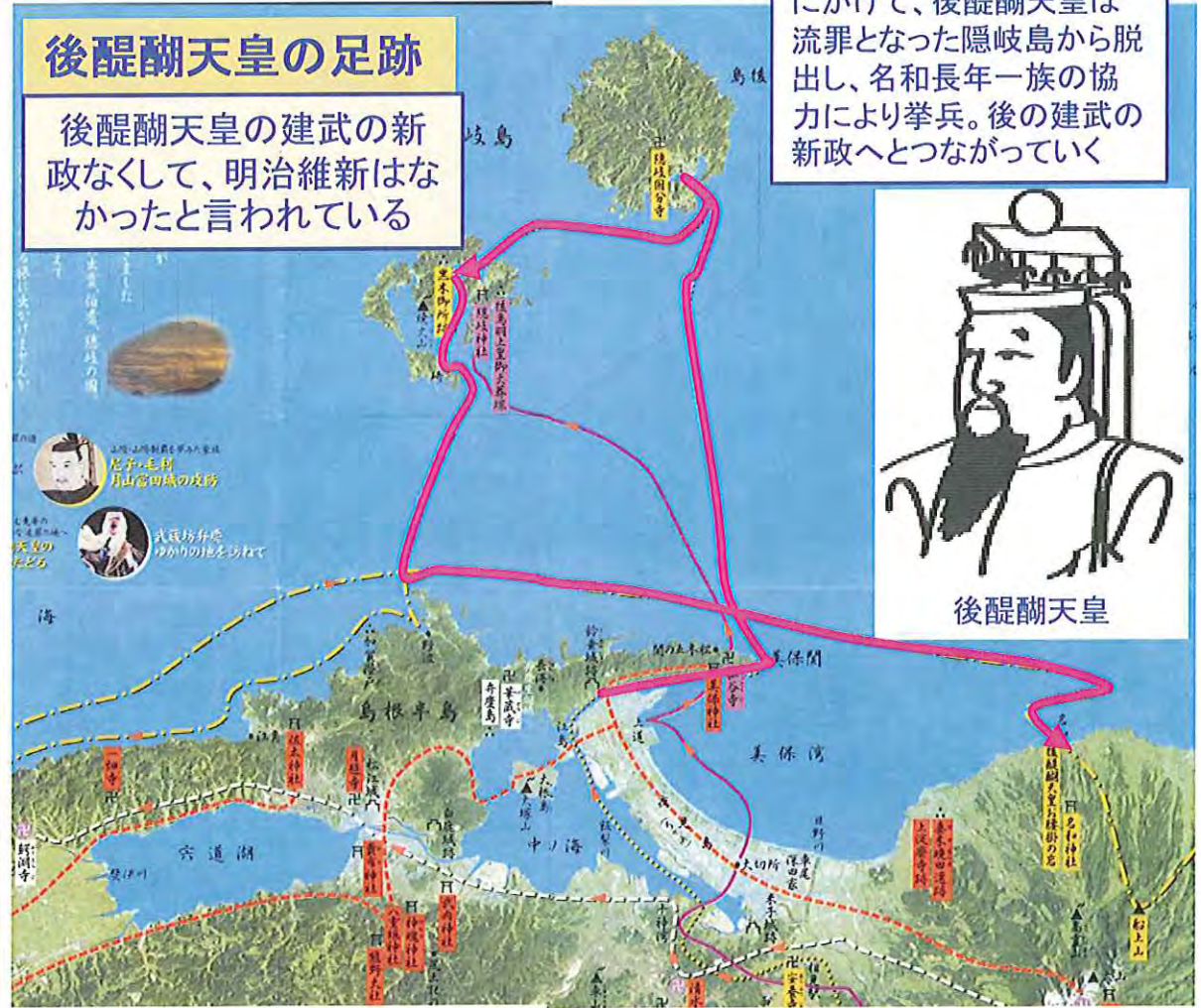
江戸時代、北前船の寄港地として栄えた。境港では伯州綿・鉄などを出荷し、街の発展につながった



復元された北前船

## 後醍醐天皇の足跡

後醍醐天皇の建武の新政なくて、明治維新はなかったと言われている



鎌倉時代から南北朝時代にかけて、後醍醐天皇は流罪となった隠岐島から脱出し、名和長年一族の協力により挙兵。後の建武の新政へとつながっていく



後醍醐天皇

# 境港のメリット① 対岸と交易しやすい地理的優位性



# 境港のメリット② 地震・津波に対する高い安全性

産経新聞【平成23年7月27日(水)】

東海・東南海・南海地震の新モデル  
4連動なら津波20m

新震源域推定 瀬戸内にも被害

東海・東南海・南海地震の新モデル  
4連動なら津波20m

新震源域推定 瀬戸内にも被害

## ニッポン高度紙工業株の進出



生産拠点を分散することにより、安定供給体制の強化を図るため、米子市に進出を決定

尾池和夫氏によるコメント

元京都大学総長  
日本ジオパーク委員会委員長

『鳥取は今後1000年、噴火、震度7以上の大型地震、津波の危険性が極めて低く、安心、安全なまちである。』

鳥取環境大学開学10周年式典にて  
平成22年6月19日(土)

## 主な海溝型地震の評価結果 (30年以内に地震が起こる確率)



出所:文部科学省地震調査研究推進本部ホームページ

## 太平洋・瀬戸内側港湾の リダンダンシー港【境港】



境港から、太平洋・瀬戸内海側へ高速道路網で直送

# 境港のメリット③ 高まる陸上輸送の優位性

太平洋・瀬戸内海  
と高速道路で直結



# 境港のメリット④ 強まる北東アジアの国々との連携

沿海地方(ロシア)、吉林省(中国)、中央県(モンゴル)、江原道・慶尚北道(韓国)、鳥取県・島根県

○これまでの交流により、**硬く強い絆** と **強固な信頼関係** を構築。

○今後さらに・・・

5地域の陸・海・空のインフラ及びネットワークを有機的に  
連結し、北東アジア・ヨーロッパにつながる交通網を構築。



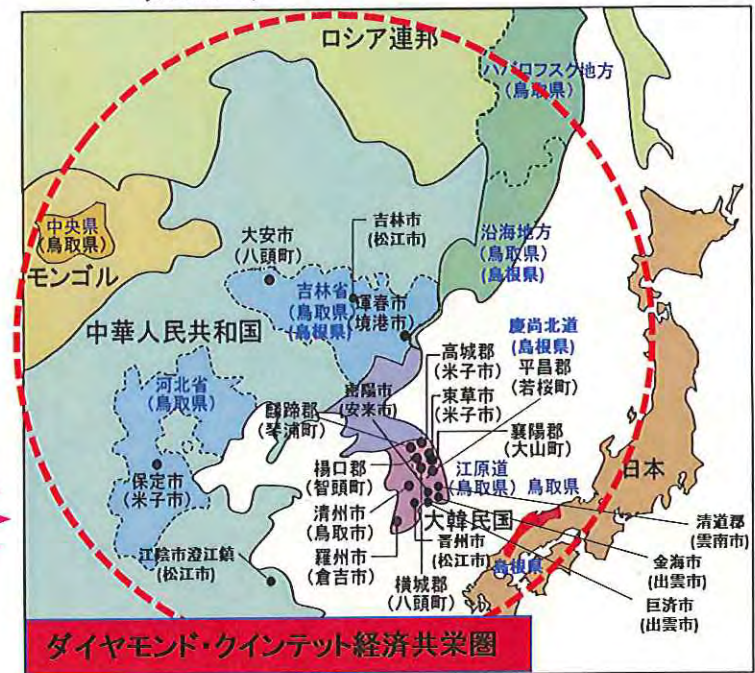
鳥取県境港市で開催された北東アジアサミット(2007.10)

「人」「モノ」「情報」が行き交う

1つの **経済共栄圏**



**「北東アジア大交流時代」  
の真の幕開け**



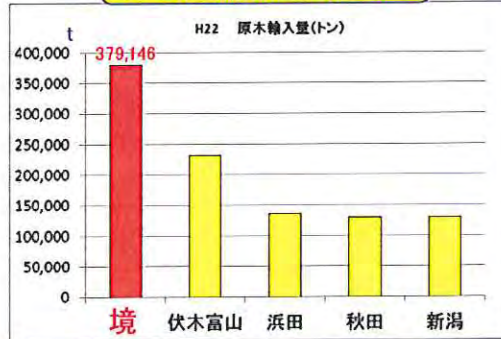


# 境港のメリット⑤

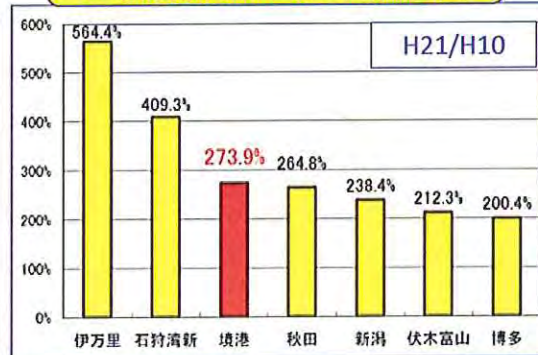
# これまでの物流・人流の実績

## ○物流の拡大

原木輸入  
日本海側1位(全国3位)

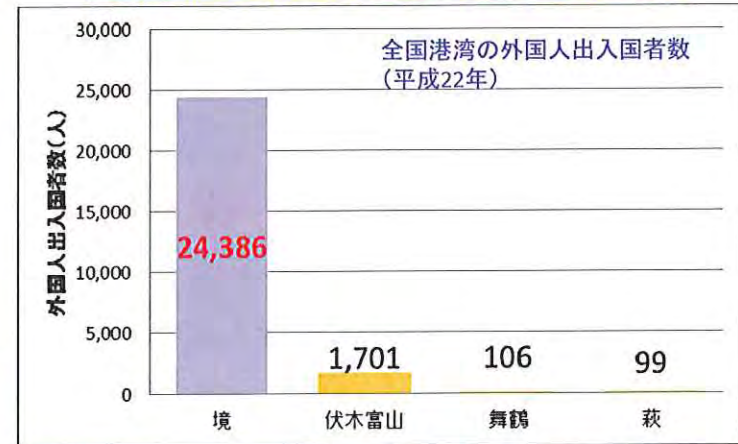


コンテナ貨物の伸び率  
日本海側本州1位(日本海側3位)



## ○人流の拡大

本州日本海側港湾では屈指の外国人出入国者数



### 境港と世界を結ぶ定期船航路図

環日本海航路は日・韓・ロ  
を結ぶ唯一の定期貨客船



■日本初の韓国男子プロゴルフ大会が開催 (H20.4)



■日中友好都市小学生卓球交歓大会 (H19.8)



■ミス 코리아候補者56人が来県 (H22.7)



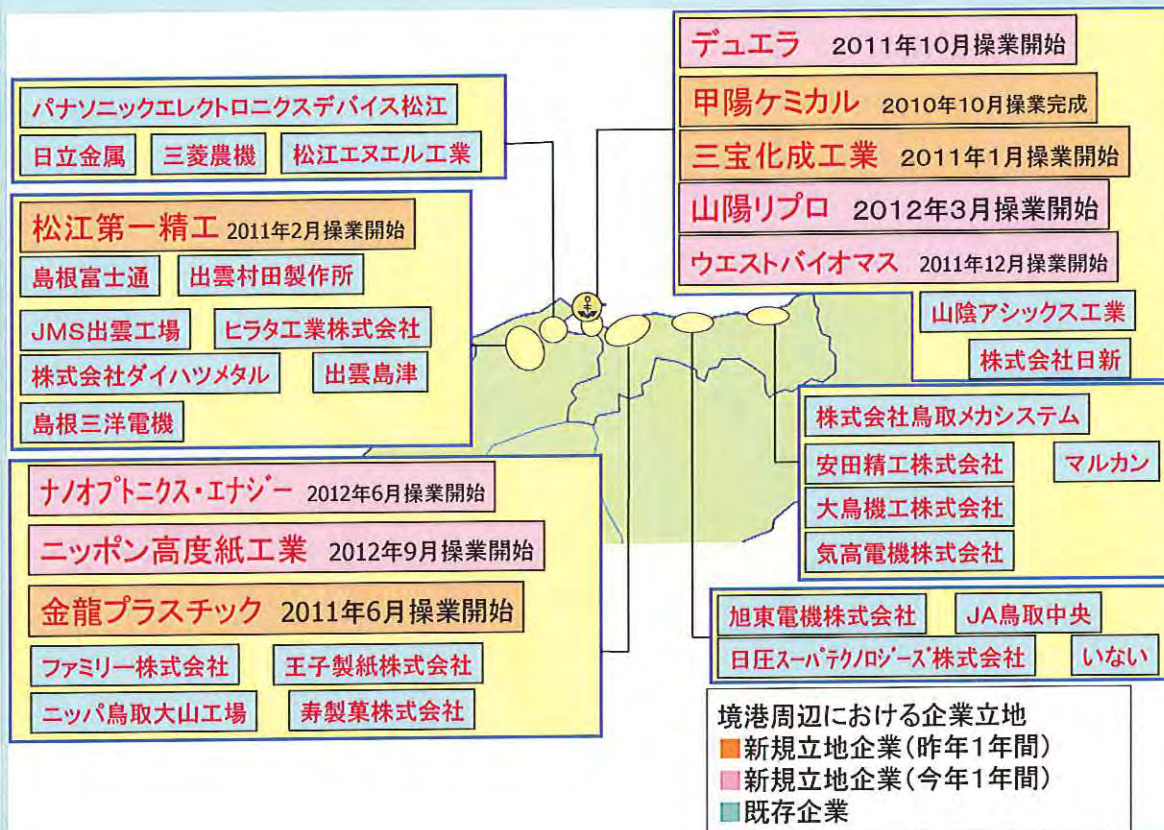
■ロシア柔道団訪問 (H22.1)



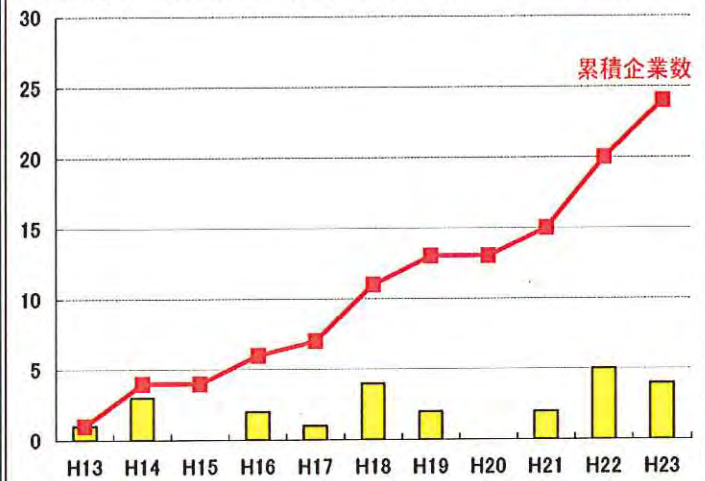
# 境港の背後に進む企業立地

## 【境港背後圏域の新規企業・既存企業立地状況】

### ◇企業立地優遇制度による新規立地・事業拡大の促進



(立地企業数) 境港に関連する県外企業誘致の動向



### 鳥取県の企業立地に係る支援制度

(企業自立サポート事業)

- ①企業立地促進資金貸付金【融資】  
工場の新増設等に対する融資
- ②企業立地事業補助金【補助金】  
工場の新増設等に対する補助金
- ③企業立地促進法における支援制度【税制支援】  
不動産取得税(県税)の免除等
- ④大震災被災企業等操業継続支援事業【補助金】  
工場の新増設等に対する補助金の災害関連加算

# 日本海側拠点港「境港」の役割

## 日本海側拠点港に求められる役割

### ○日本海側地域の経済発展に貢献

- I. 物流コスト削減とリードタイムの短縮による国際競争力強化
- II. 観光立国の実現
- III. 循環型社会の構築

### ○災害時のリダンダンシーの形成

対岸諸国の  
経済発展等の  
取り込み

## 日本海側拠点港「境港」の役割

### (1) 国際海上コンテナ輸送の拠点

- ・中国・韓国へのダイレクト輸送促進による、背後の生産地・消費地からの輸送コスト縮減

### (2) 国際フェリー・国際RORO船の拠点

- ・対岸への近接性を活かした環日本海物流ルートの維持・拡大による対岸諸国の活力の取込み

### (3) 原木の拠点

- ・輸送船舶の大型化に対応
- ・西日本の木材需要への安定供給

### (4) 外航クルーズの拠点

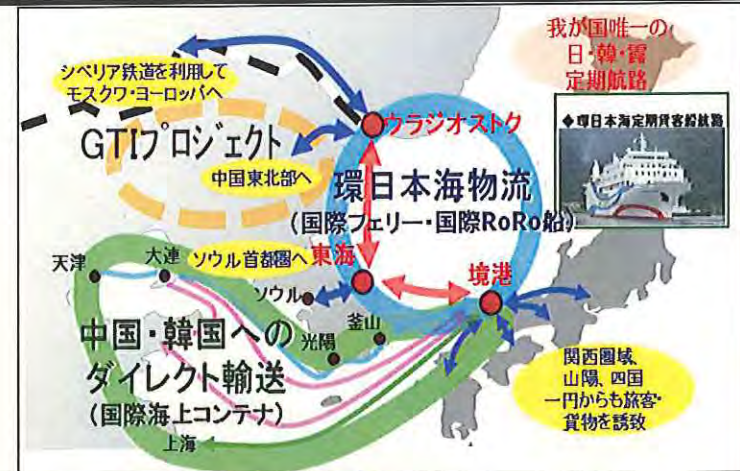
- ・東アジア定点クルーズの誘致による観光立国の実現

### (5) リサイクル貨物の拠点

- ・環日本海静脈物流の形成

### ※災害時のリダンダンシーの形成

- ・整備された陸海空の結節点として災害に強い物流ネットワークを構築
- ・地震・津波に対する安全性が高い港湾



・地域経済  
活性化  
・雇用創出

・物流コストの削減  
・ビジネスチャンスの拡大  
・企業立地・設備投資の  
促進

# 日本海側拠点港

# 境港の計画目標

## 国際海上コンテナ

2010年  
ダイレクト便週5便  
7,530TEU

2015年  
ダイレクト便週6便  
11,790TEU(1.6倍)  
(基準値:2010年比1.2倍)

2025年  
ダイレクト便週7便  
26,290TEU(3.5倍)  
(基準値:2010年比2倍)

## 国際フェリー・国際RORO船

2010年  
貨客船週1便

2015年  
貨客船週1便  
RORO船月2便  
(基準値:定期航路の安定就航)

2025年  
貨客船週3便  
RORO船週2便  
(基準値:週5便以上)

## 原木

2010年  
年間42万トン  
(外貿38万トン、内貿4万トン)  
4万DWT級船舶入港可能

2015年  
年間75万トン  
4万DWT級船舶入港可能  
(基準値:年間30万トン以上・  
3万DWT級船舶入港可能)

2025年  
年間102万トン  
4万DWT級船舶入港可能  
(基準値:年間30万トン以上・  
3万DWT級船舶入港可能)

## 外航クルーズ

2010年  
年間10回

2015年  
年間26回安定寄港  
(基準値:年間25回安定寄港)

2025年  
年間58回安定寄港  
(基準値:年間50回安定寄港)

## リサイクル

2010年  
年間2.3万トン

2015年  
年間17万トン

2025年  
年間30万トン

# 国際海上コンテナ ゲートウェイとしてのポテンシャル

## 物流コスト削減とリードタイムの短縮による国際競争力強化

### ○国際海上コンテナ

- ・コンテナ貨物の伸び率は日本海側3位
- ・近畿、中国、四国の主要都市と高速道路で直結

### 取扱主要品目

#### 中国航路

輸入：鉄鋼・マッサージチェア  
 輸出：非鉄金属・パルプ

#### 韓国航路

輸入：産業機械・食料品  
 輸出：非鉄金属・水産品

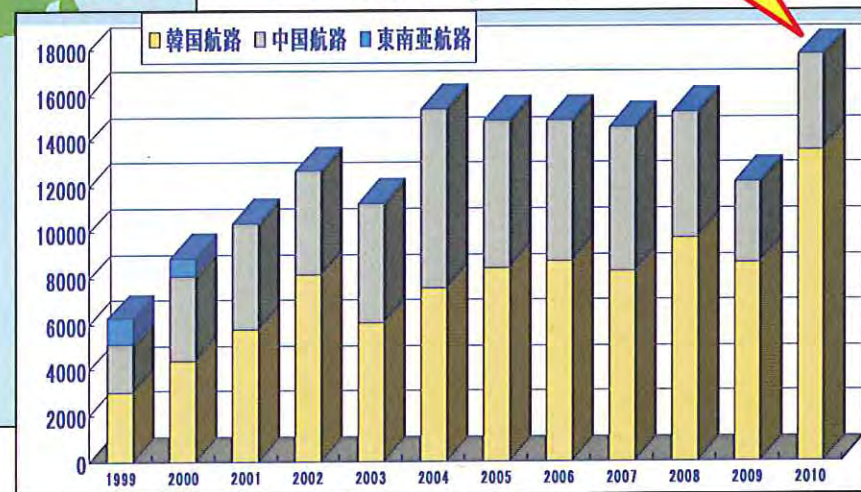
### 既存のコンテナ航路



境港の定期コンテナ航路  
 韓国航路 週3便  
 中国航路 週2便

17,774TEU  
 (前年比145.6%)

### ■境港のコンテナ取扱量(実入)

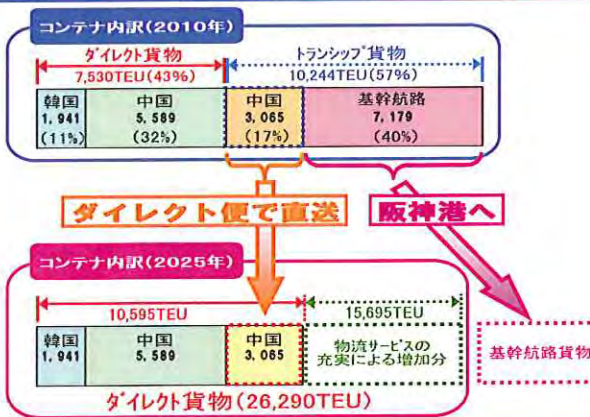


# 国際海上コンテナ

# 境港が目指す姿

## 計画実現のための方策

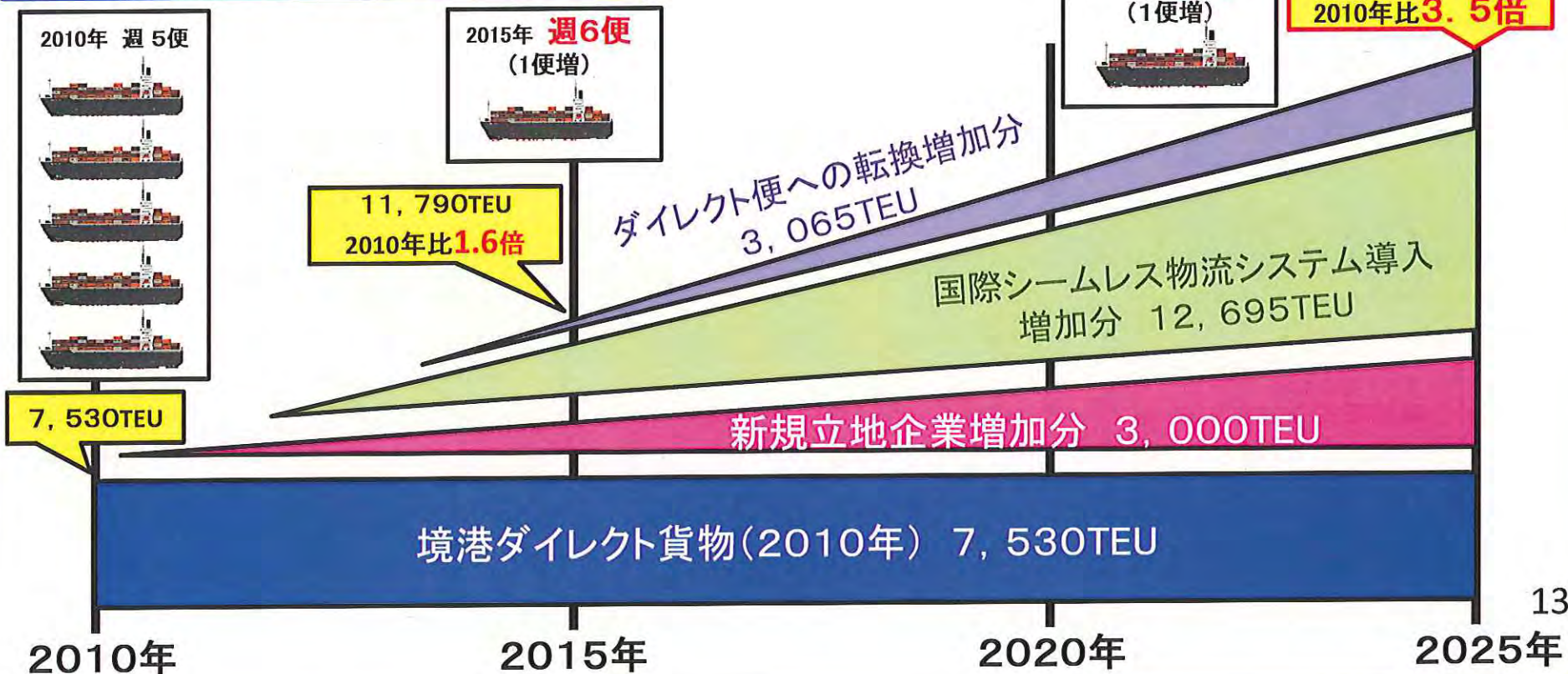
- 新規企業の立地促進
- 国際シームレス物流システムの導入
- 航路誘致
- 他港との連携
- ポートセールスによる推進体制の確立
- 支援制度の活用による境港利用促進



## 〇計画の効果

1. 直接効果  
効果額 9.7億円
2. 経済波及効果  
効果額 683.1億円  
雇用 5,619人

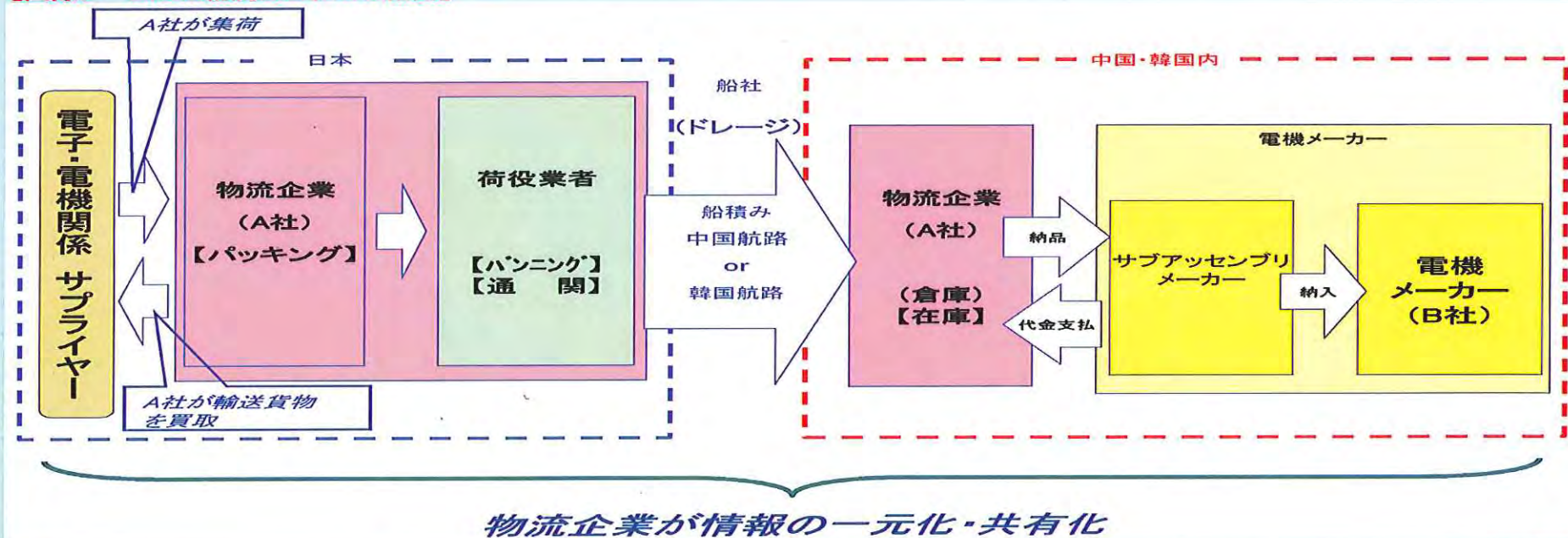
## 境港におけるコンテナ貨物と航路の推移



## ○国際シームレス物流システムの導入

◇境港が目指すハイパフォーマンスプラットホームの形成による貨物の増加

### 【国際シームレス物流システムの概要】



### ◎貨物集約施設機能

#### ①情報

- ・ 調達支援サービス
- ・ 発注支援サービス

■ 受発注から納品までリアルタイムに貨物の流れを確認

#### ②金融

- ・ 買取代行サービス

■ 確実、スピーディーな債権回収

#### ③物流

- ・ 梱包サービス
- ・ 共同混載・集約機能

■ 物流経費削減、リードタイム短縮

# 国際フェリー・国際RORO船

ゲートウェイとしてのポテンシャル

物流コスト削減とリードタイムの短縮による国際競争力強化

## ○国際フェリー・国際RORO船

- ・我が国唯一の日・韓・露国際定期貨客船が安定就航
- ・GTI運輸プロジェクトに位置付けられた唯一の定期航路



航路	区間
① 環日本海航路	境港～東海～ウラジオストク
② 北東アジアフェリー航路(運休中)	東草～新潟～ザルビノ～璋春

回廊	区間
③ 図們江輸送回廊	図們江地域～長春～モンゴル東部
④ シベリア・ランドブリッジ	ロシア沿海地方～ヨーロッパ(シベリア鉄道)
⑤ 樺太河輸送回廊	ロシア沿海地方～樺太河～ハルビン～満州里～ザバイカリスク
⑥ 大連輸送回廊	大連～清陽～長春～ハルビン～黒河～ブラゴヴェシチンスク
⑦ 天津・モンゴル輸送回廊	天津～北京～ウランバートル



2010年7月 パフリカ輸入、ミスコリア選抜大会



# 国際フェリー・国際RORO船

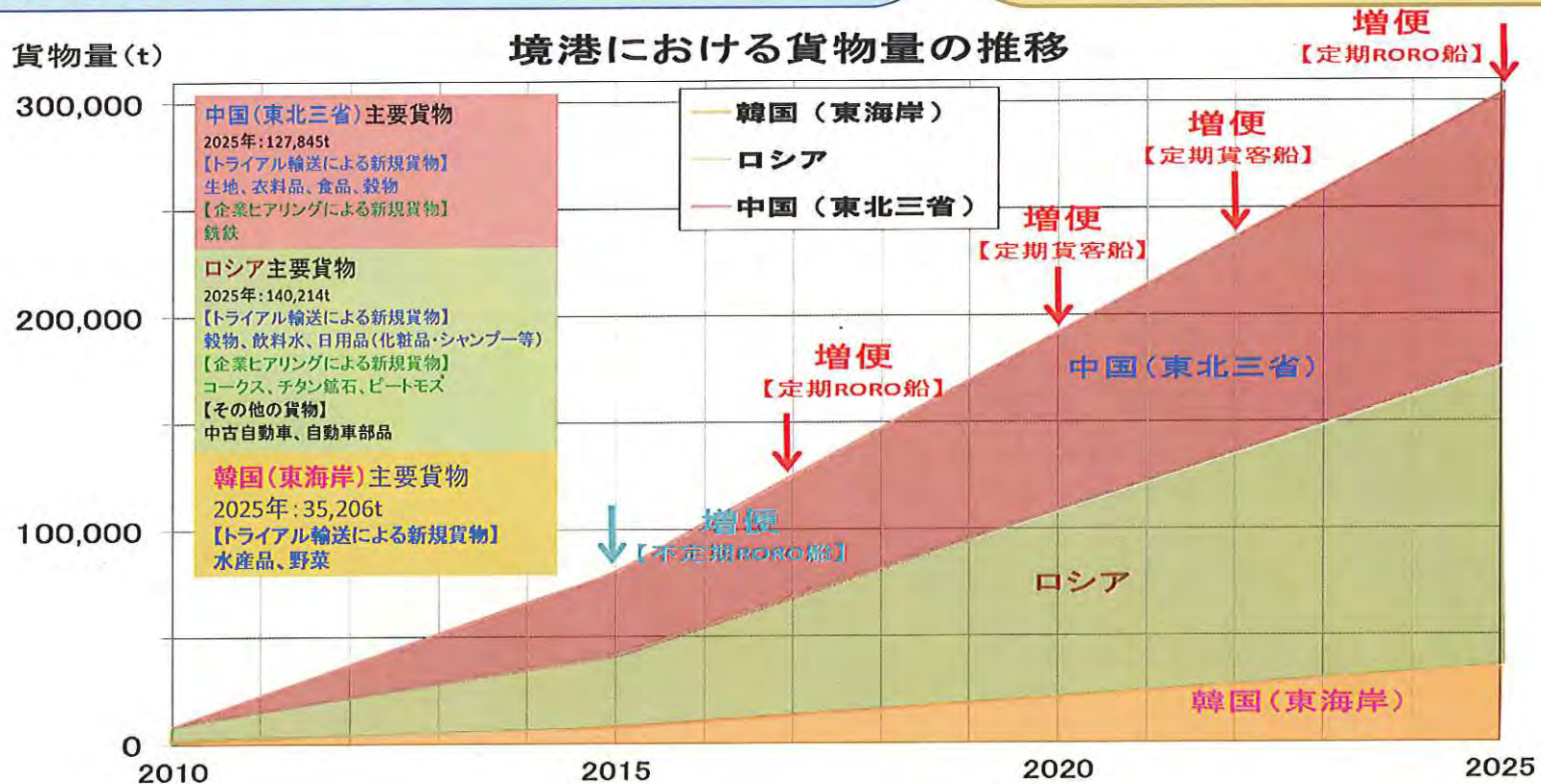
境港が目指す姿

## 計画実現のための方策

- GTI運輸プロジェクトの実現と新たな物流拡大
- トライアル輸送による販路拡大
- 国際シームレス物流システムの導入とSEA&RAIL
- 新規企業の立地促進・事業拡大の促進
- 他港との連携
- ポートセールス・推進体制の確立
- 支援制度による境港利用促進
- 既存施設の有効活用

## ○計画の効果

1. 直接効果  
効果額2.3億円
2. 経済波及効果  
効果額713.6億円  
雇用2,785人



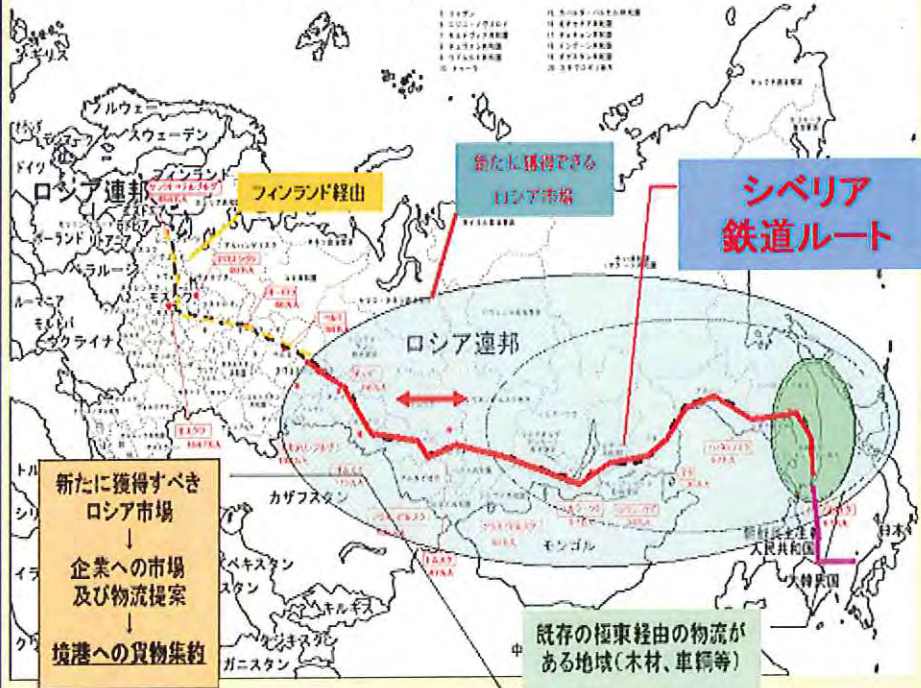
# 国際フェリー・国際RORO船 計画実現のための方策～トライアル輸送～

## ○トライアル輸送

トライアル輸送を実施し、新たな物流ルートの確立を図るとともに境港に貨物を誘致  
就航済みの環日本海航路を利用し、北東アジア・ロシア向けの新たなルートを確認し、境港に新たな貨物を誘導する。

### ロシアトライアル輸送

一貫輸送(航路+シベリア鉄道)で優位性が出る地域

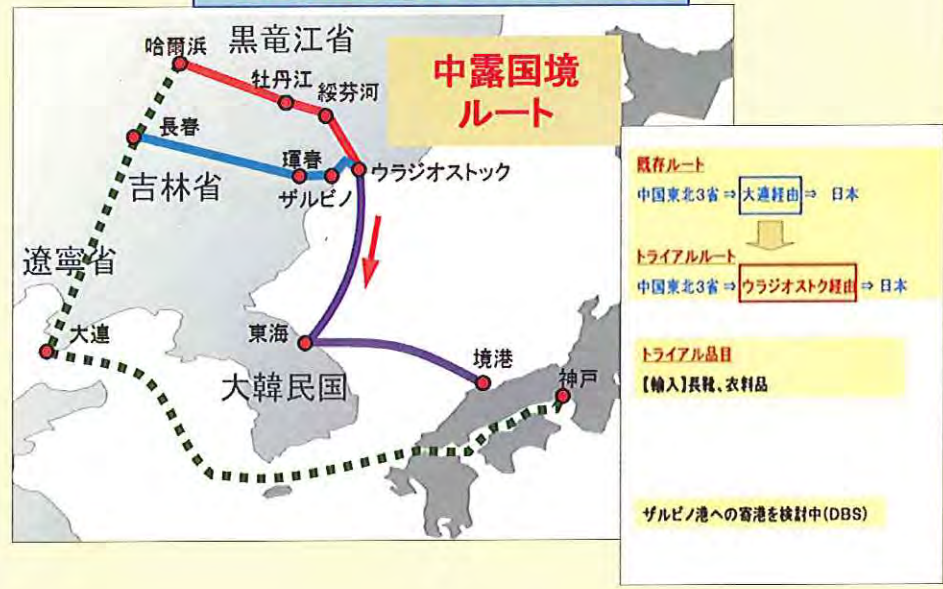


新たに獲得すべき  
ロシア市場  
↓  
企業への市場  
及び物流提案  
↓  
境港への貨物集約

**既存ルート**  
日本⇄フィンランド 経由⇄西ロシア  
**トライアルルート**  
日本⇄ウラジオストク 経由⇄西ロシア

**トライアル品目**  
【輸出】生鮮食品、食料品、ペットフード、日用品、中古自動車  
【輸入】鉱物資源、岩塩、水産品、蜂蜜、ミネラルウォーター

### 中国(東北三省)トライアル輸送



**既存ルート**  
中国東北3省⇄大連経由⇄日本  
**トライアルルート**  
中国東北3省⇄ウラジオストク経由⇄日本

**トライアル品目**  
【輸入】民権、衣料品

ザルビノ港への寄港を検討中(DBS)

◇ホヤのトライアル輸送  
平成22年に北海道産ホヤを国内鉄道+貨客船を利用しホヤの輸送を実施した。  
リードタイム短縮・輸送コスト削減の効果が確認された。



## ○既存施設の有効活用

### ○多目的物流ターミナル整備

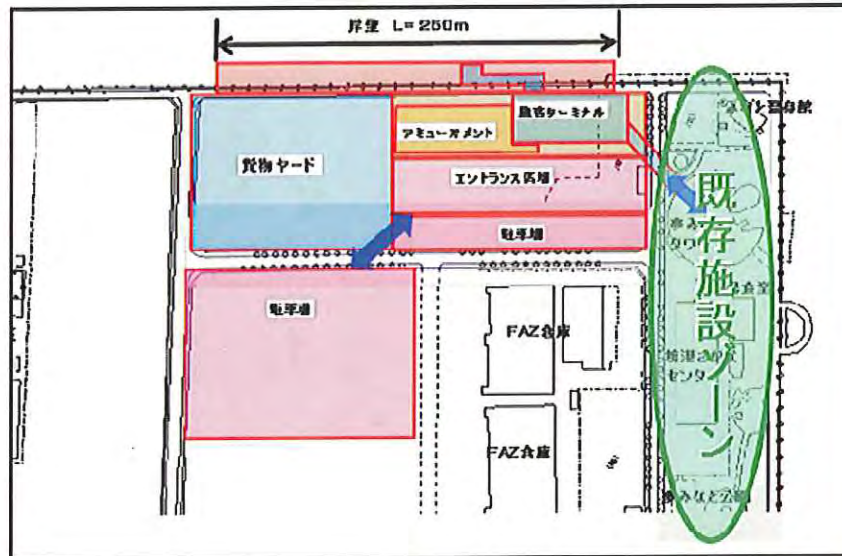
国際多目的ターミナルを整備し、増加する旅客及び貨物に対応する

### ○既存施設と一体となった国際交流ゾーンの形成

夢みなとタワー・港温泉など国際交流ゾーンの形成

### ○供用中の仮設国際ターミナルのある昭和北地区は 貨物(セメント・重油・原木)専用岸壁として利用

## 国際交流ゾーン



# 原木 ゲートウェイとしてのポテンシャル

## ○原木の拠点港

### ○合板西日本の供給拠点

西日本エリアの住宅用合板の約7割を供給(全国約15%)

### ○地域を支える主要産業の原材料供給拠点

原木輸入は日本海側1位(全国3位)

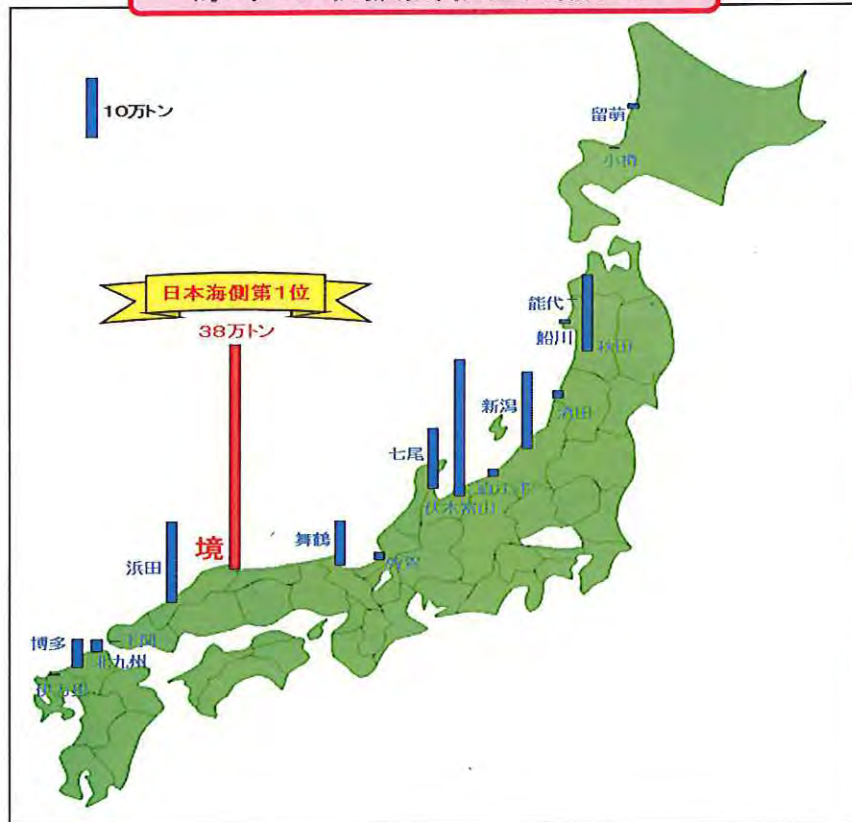
## 世界中から集まる原木



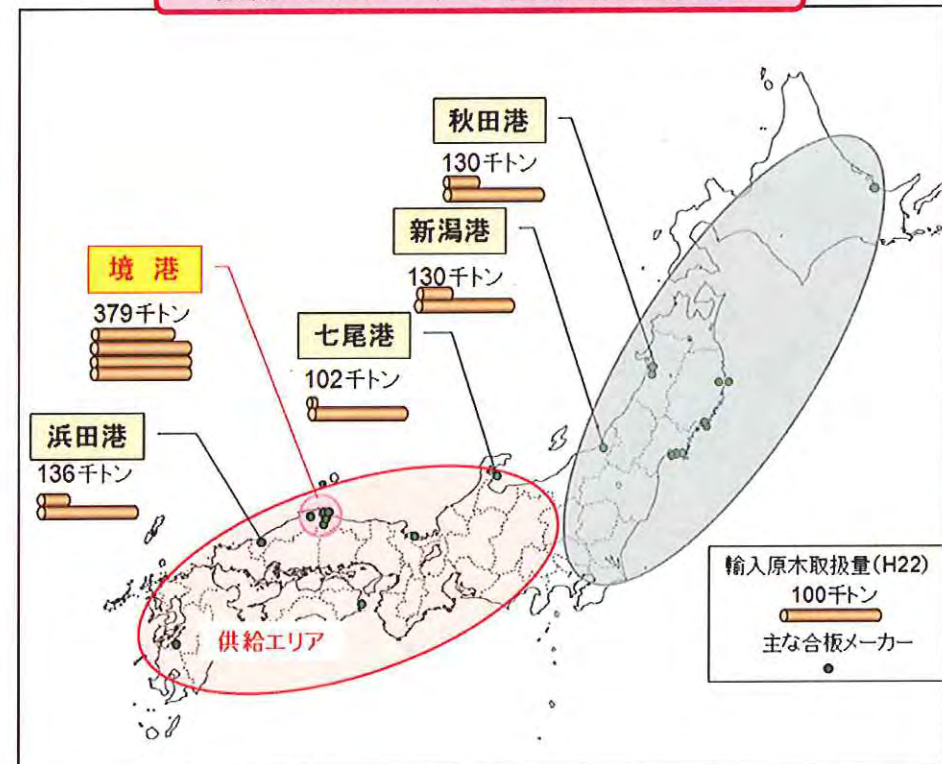
## 境港に野積された原木



## 原木の取扱貨物量(輸入)



## 境港は西日本の合板製造拠点



# 原木 境港が目指す姿

## 計画実現のための方策

- ふ頭再編
- 中野国際物流ターミナル整備
- 他港連携
- 企業立地事業補助
- AGM(アジア型マイマイガ)対策 (北米で厳しい規制)
- 計画実現のための推進体制と行動計画

## ○計画の効果

○直接効果 効果額 12.9億円

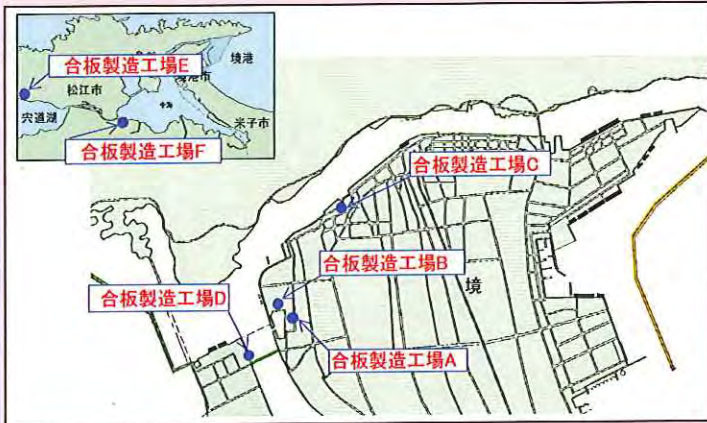
- 沖待ち解消
- 横持ち解消
- 喫水調整の解消(ファーストポート化)

○経済波及効果 効果額 80.4億円  
雇用 758人

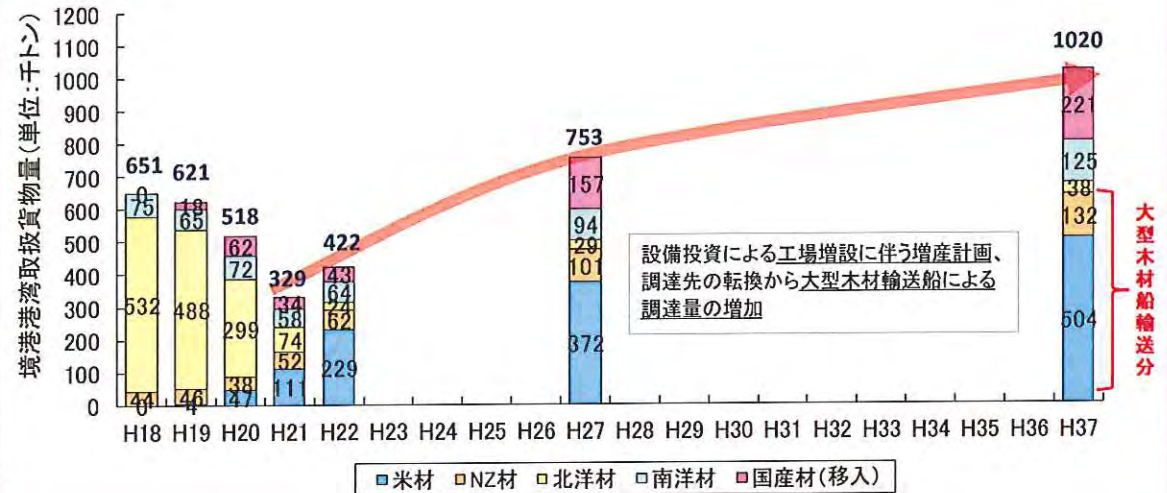
- 新規設備投資による効果

## 境港のポテンシャル

○境港背後に多数の木材関連企業が立地



○木材加工企業の増産により、原木取扱量が飛躍的に増加



# 原木 計画実現のための方策

## ふ頭再編と中野地区国際物流ターミナル整備

### 現状の問題点

- ・ 貨物の混在
- ・ 大型船対応岸壁の不足

→ ( 非効率な荷役  
横持ち発生  
沖待ち発生 )

### 改善策

#### ふ頭再編

- 混在する貨物の種別ごとの集約



#### 中野地区国際物流ターミナル整備

- 不足する大型岸壁の対策
- ふ頭用地を圧迫する原木の対策

### 効果

- ・ 増大する貨物の取扱岸壁を確保
- ・ 貨物ごとの集約による荷役効率の向上  
→ 沖待ち解消・原木等の横持ち解消

### 沖待ち(現状)

1日の沖待ち費用200万円

年間延べ40日程度の沖待ちが強いられる



4隻 沖待ち



### ◇ 中野地区国際物流ターミナル整備による効果

- ・ 既存施設の有効活用
- ・ 大型貨物船入港可能岸壁が増加することによる沖待ちの解消
- ・ 埠頭用地確保による横持ちの解消
- ・ 喫水調整の緩和による輸送回数の減少 (ファーストポート化)

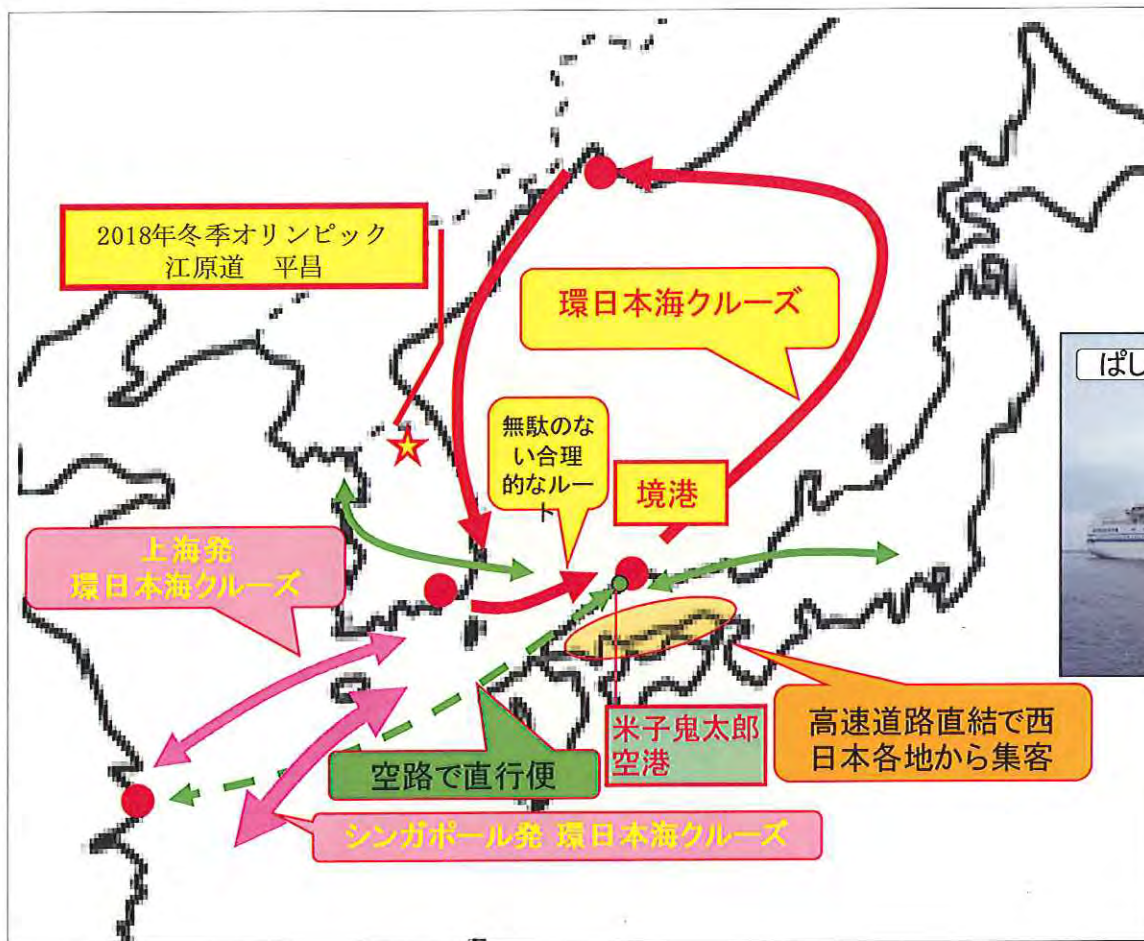


# 外航クルーズ ゲートウェイとしてのポテンシャル

## 観光立国の実現への貢献

### ○外航クルーズ(定点・背後観光地)

- ・対岸諸国の人々を惹きつける魅力ある観光地が多数存在
- ・クルーズ船社の選定港湾としての位置付けが高まっている
- ・既にCIQが整っている



# 外航クルーズ 境港が目指す姿

## 計画実現のための方策

### (1)クルーズの誘致

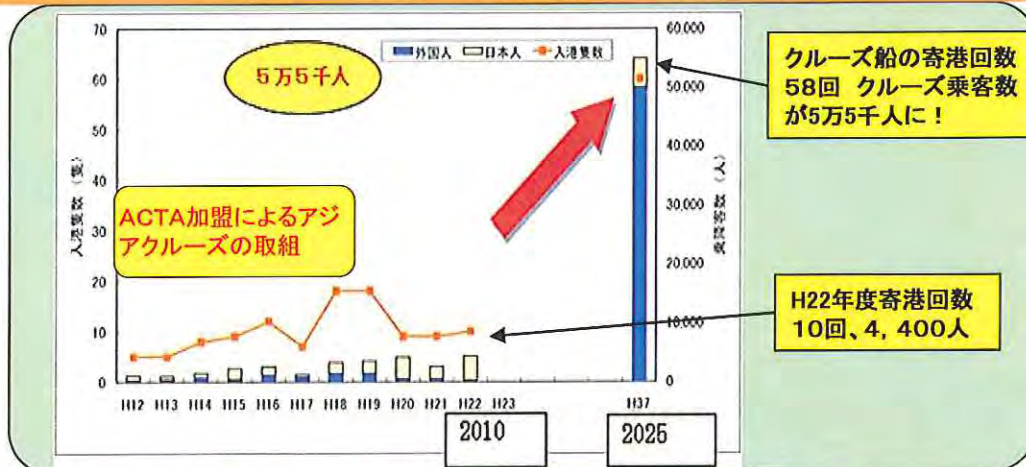
- 1) アジアクルーズターミナル協会 (ACTA) への加入によるアジアクルーズの誘致  
(7カ国・12港加入)
- 2) 国内クルーズの寄港を増加
- 3) 小型クルーズ客船の誘致
- 4) 外国船社のカジュアルクルーズの誘致
- 5) フライ&クルーズの誘致

### (2) CIQの充実

- (3) 背後観光地の魅力アップ
- (4) 歓迎セレモニーの拡充
- (5) 他港との連携
- (6) 東アジアにおける共同プロモーション
- (7) 既存施設の有効活用
- (8) 推進体制の確立と行動計画
- (9) メディカルツーリズムの誘致

## ○計画の効果

1. 直接効果  
効果額 11.5億円
2. 経済波及効果  
効果額 2.2億円  
雇用 72人



クルーズ船の寄港回数  
58回 クルーズ乗客数  
が5万5千人に！

H22年度寄港回数  
10回、4,400人

## 多くの観光客を惹きつける多種多様な観光資源





# 外航クルーズ 計画実現のための方策

## 「アジアクルーズターミナル組合(ACTA)」への加入

○シンガポールのクルーズフェリーターミナル運営会社である「シンガポールクルーズセンター(SCC)」が中心となって平成23年9月に設立する「アジアクルーズターミナル組合(ACTA)」への加入することで、**年間36回寄港**を実現する。

○加入予定港:計7カ国・12港

シンガポール、中国(上海、アモイ、煙台)、日本(境港、神戸、大阪)、韓国(釜山、仁川)、台湾(基隆)、フィリピン(スービック)、ベトナム(ダナン)

### ACTAクルーズ年間寄港回数計画

発着地					境港寄港回数	
			日本寄港率	境港寄港率		
上海発着	300回	×	20%	×	50%	30回
シンガポール発着	300回	×	10%	×	20%	6回
合計					<b>36回</b>	

※ACTAクルーズ600回/年(2009年SCC実績)



日本に寄港しているアジア配船のクルーズ客船  
(写真はLegend of the seas)



## 韓国等クルーズ船社の新規参入

○釜山等を母港にしたクルーズ船が

月に1回以上寄港 → **年間12回寄港**

**年間12回寄港**

境港はすでにCIQ体制が整っており、ファーストポートにする船社の意向

### 《クルーズ船》

- ・総トン数 25,000トン
- ・全長 168m
- ・全幅 28m
- ・喫水7.8m
- ・乗客定員: 1,000名



韓国ドラマ「アテナ:戦争の女神」  
(H22.12放送開始)の舞台「鳥取県」



H24年11月国際マンガサミット鳥取大会開催



中国人に人気のアニメを利用した  
「コナンの里づくり」



中国人に人気の鬼太郎  
をラッピングした列車



エコツーリズム国際大会2013in鳥取



# リサイクル貨物

# ゲートウェイとしてのポテンシャル

## 循環型社会構築への貢献

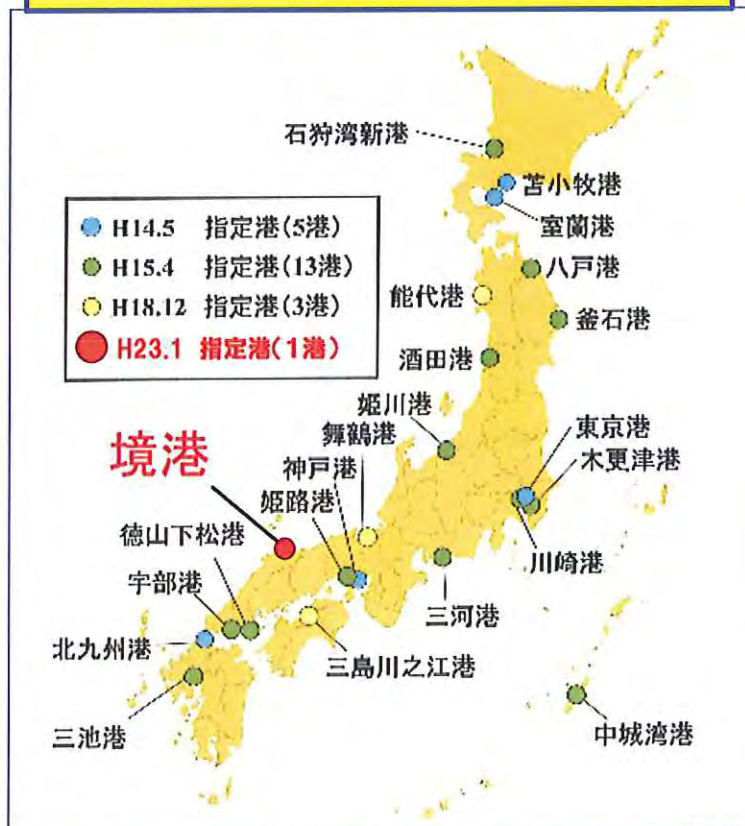
### リサイクル貨物

- ・ 静脈物流の海上輸送への転換と物流促進
- ・ H23.1 リサイクルポート指定

#### 境港の現在の静脈物流の海上輸送



#### 全国のリサイクルポートの位置



RPFの積み出し状況



金属くずの積み出し状況



# リサイクル貨物

# 境港が目指す姿

## 計画実現のための方策

- 循環社会を実現するための推進体制と行動計画
  - ◇境港リサイクルポート推進協議会
- 他港との連携(対岸諸国との窓口)
  - ◇他のリサイクルポートとの連携
  - ◇鳥取港・浜田港・三隅港との連携
  - ◇原材料を境港に集めて背後企業で製品へ加工し輸・移出
- 既存施設を有効活用した埠頭の再編
  - ◇原木取扱埠頭の集約による効果的なリサイクル貨物取扱埠頭確保
- トライアル輸送による新たな物流(内貿・外貿)拡大
  - ◇H23韓国へのRPFトライアル輸出(日本初)
  - ◇H23中国へのガラス再生粉のトライアル輸送
- リサイクル企業の事業拡大と立地を支援(支援制度の活用)
  - ◇企業助成制度と税制優遇制度
  - ◇インセンティブ制度の活用による境港利用の促進

## 境港背後に多数のリサイクル企業が立地



## 境港のポテンシャル

### 対岸諸国で廃棄物が増加

○北東アジアの廃棄物は2010年から2025で約1.5倍

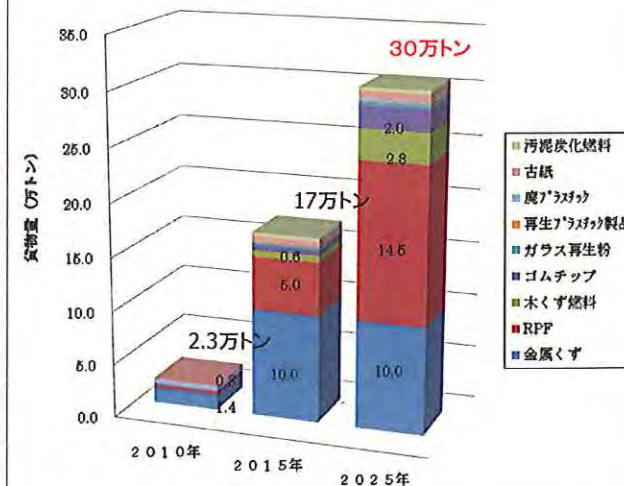


○鳥取県沿岸に対岸の漂流物が多い



### 境港の循環資源取扱量

#### リサイクル貨物取扱量



### 計画の効果

1. 直接効果  
効果額 1.5億円
2. 経済波及効果  
生産誘発効果 147.7億円  
雇用創出効果 1,221人

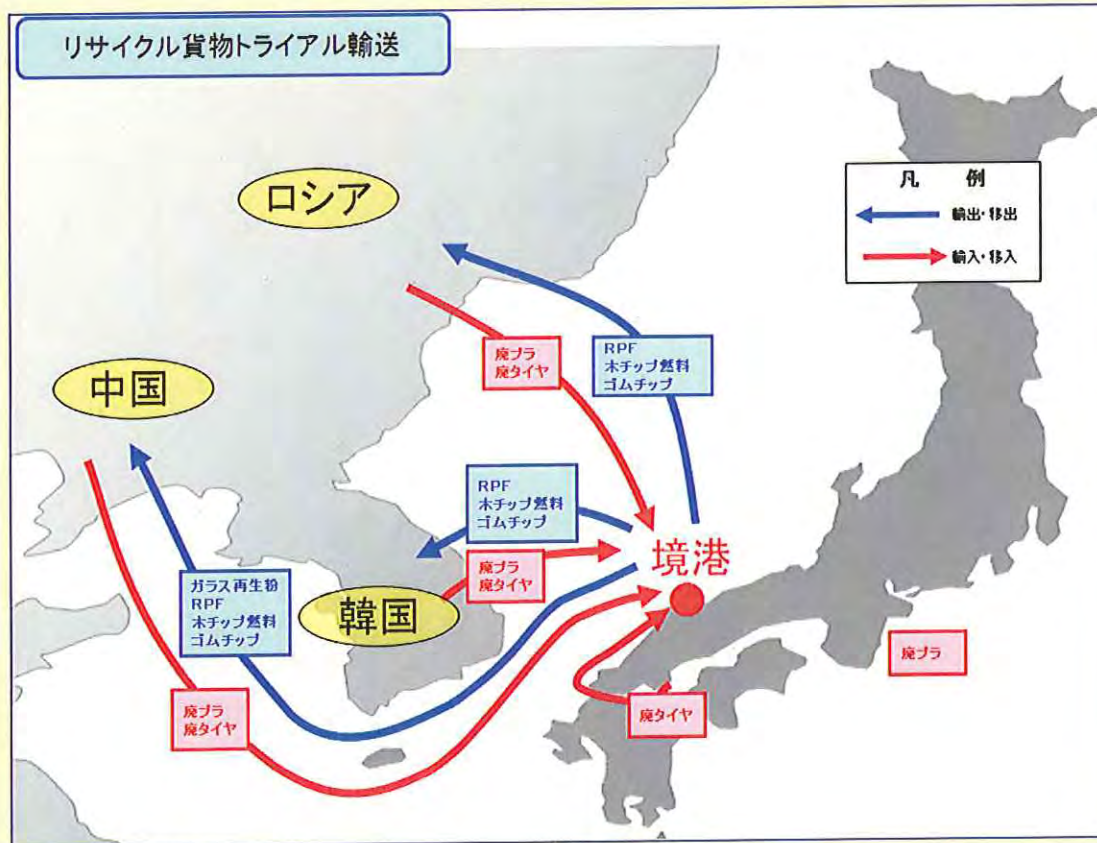
# リサイクル貨物

# 計画実現のための方策

## 〇トライアル輸送

【トライアル輸送スケジュール】

平成23年度: RPFの韓国への輸出、ガラス再生粉の中国への輸出 ⇒ 継続的に実施



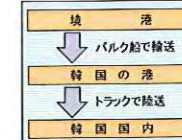
### 【検証すべき課題】

- 1) 輸送コスト
- 2) 輸送時間
- 3) 対岸における積込・積卸等の問題
- 4) 通関等手続き上の問題
- 5) 廃掃法等の法律上の問題点
- 6) その他

## 平成23年度のトライアル輸送

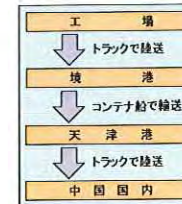
### 〇 RPFのトライアル輸送

概要	海路によるRPFの韓国向け輸送実験
目的	RPFの海外輸出は国内初めてであるため、リードタイム、輸送コスト、通関状況、韓国での陸送状況などについて検証を行う。
輸送品目	RPF
数量・荷姿	バラ (量は未定)



### 〇 ガラス再生粉のトライアル輸送

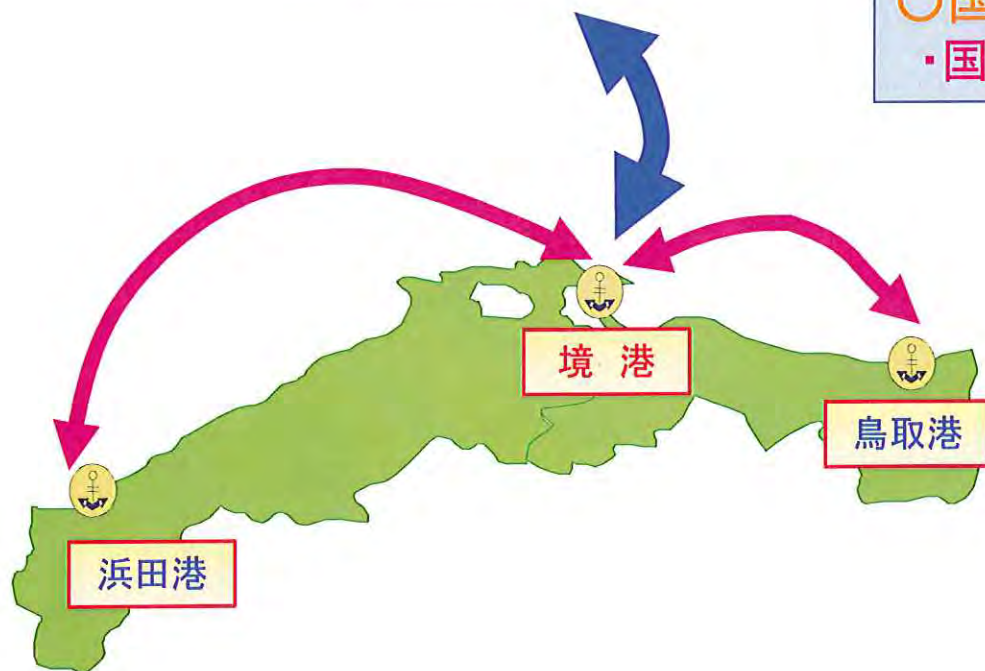
概要	海路によるガラス再生粉の中国向け輸送実験
目的	ガラス再生粉の境港からの輸出は初めてであるため、リードタイム、輸送コスト、通関状況、中国での陸送状況などについて検証を行う。
輸送品目	ガラス再生粉
数量・荷姿	コンテナ (量は未定)



# 他港との連携・共働

## 中国地方日本海側拠点港として鳥取港・浜田港と連携

対岸諸国と輸出入



- 国際海上コンテナ
  - ・上海便の浜田港寄港
- 国際フェリー・国際RORO船
  - ・国際RORO船の鳥取港・浜田港寄港

### ○外航クルーズ

優れた観光地を有する日本海側の他港（鳥取港、浜田港、金沢港、秋田港）と共働によるクルーズ誘致



# 計画実現に向けた推進体制

## ○ポートセールス・推進体制

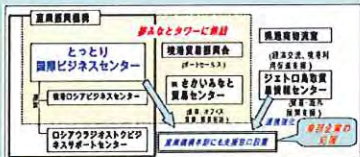
### 中海市長会



- 構成員: 米子市 境港市 松江市 安来市
- 活動
  - 環日本海貨客船航路就航支援
  - ロシアビジネスサポート専門人材配置
  - 環日本海諸国との観光交流の促進

### とっとり国際 ビジネスセンター

#### ○組織概要



#### ○活動

- ・貿易、海外への販路拡大に関する情報提供
- ・海外経済・産業、輸出入制度に関する情報提供
- ・海外との取引に関するマッチング支援
- ・ロシアビジネスのサポート

## 北東アジア ゲートウェイ

### 環日本海経済活動 促進協議会



- 構成員: 鳥取・島根を中心とした民間企業162団体+公的機関18団体(内: 県外企業30社) 合計 180団体
- 活動
  - 民間主体によるロシア、韓国、中国市場等を念頭に置いた新たなビジネスチャンス拡大

### 境港貿易振興会

- 活動
  - ・コンテナ航路に係るポートセールス活動
  - ・境港の貨物利用促進に資する事業(情報発信・利用促進懇談会開催等)
  - ・利用助成制度の周知・運用

## 官民による交流

北東アジア地域国際交流  
協力地方政府サミット



大韓民国江原道平昌郡(H22.5)

青少年文化交流事業



吉林省(H22.8)

## 官民経済活動



鳥取ウラジオストック  
ビジネスサポートセンター  
開設 (H23.5)



SANIN PLAZA in CHINAの様子  
民間企業による常設展示場吉林省  
(H22.9)



中国吉林  
北東アジア投資貿易博覧会出展  
(H22.9)